

特別保安日の賃金問題

の作業よりも、短時間で密度の濃い仕事をし、退避訓練の実施など。

「一日分に近い仕事を半日でやっていた」という人も多いのではないだろうか。「こげんきつかめおつてバカらしく。次回からは特休で休んだ方がまし」という声も聞かれた。特別保安日だ。

(一分会職場新聞「さすな」六月十三日付、百三十八号から)

大型機械化への警鐘

六月七日は「特別保安日」ということで、各職種ごとに現場係員単位で保安作業や退避訓練が実施された。

採炭や掘進などでは、一サイクルの生産労働をしたあと保安作業をします。これに対する当日の賃金は、各職種平均出来高の八五割です。

保安作業分と見れば考えられないこともありませんが、他のC給作業者のことを考えると問題があります。

例えば、機械工の採掘終了個所のトラフ撤去作業や、仕繕工の日常と変わらない作業などは通常日

現場の声

五月二十二日、一番方でロードヘッターの第二コンベヤーによって機械当番の人が肋骨を折る負傷事故がありました。

現場の声を職場集会や職場新聞で取り上げよう。



わが家の庭で、マリーゴールドの花が少しずつ咲きはじめました。このマリーゴールドは五年ほど前、まだ大島社宅に居る頃、メーデーに参加した帰りに二小校区の徳永さんから頂いたものです。

その後、二年前に社宅立ち退きのために万田社宅の西町に移転してきましたが、徳永さんに

マリーゴールド

荒尾ブロック 久保田 昭子

ができたことにより、道路を拡張し、また新しく道路をつくることになり、四小校区の分会員が住んでいるところが、すべて道路や駐車場になることになりました。

これは「ほとんどが三井の所有地であり、買収の関係も、幅広い街づくりを行うためにも最適である」ということですが、これにはとても憤りを感じま

あほんだら



経営の怠慢、浮き彫り

被告側、久保氏への反対尋問終わる

不当解雇訴訟 第9回公判

「解雇無効確認」を求める三池時まで福岡地裁三〇一法廷(民事)で不当解雇訴訟の第九回口頭弁論が五月五日、午後一時三十分から四十分、開かれました。

口頭弁論は、前回の被告会社側久保氏に対する反対尋問に続いて、原告代理人の田中利美弁護士と小島隆弁護士が反対尋問をおこないました。

前回の反対尋問の中で久保氏は、

主婦会が統一行事

六月三日、主婦会の統一行事を山鹿の「サンパレス松坂」でおこないました。当日は四十五人が参加し、それぞれおあいさつと激励を加、天候にも恵まれて、日輪寺を訪れたあと会場に向いました。

福岡県では、小野明参議院副議長長の前を伴う補欠選挙がたかたか行われているなかで、芳川



今年度の引き取り量が、〇九一万吨に決定され、今年は大きな合理化はないだろうとの報告をうけましたが、現有炭鉱の維持・存続のためにはさらに強めていかなければなりません。そのためにも、参議院福岡補欠選挙でぜひとも勝利するために、明日からも一票積み上げてくださいと確認し合いました。

会食のあと演芸に移りましたが、

政策と地域振興強化を

石炭労協が代表者会議など

石炭労協(会長=藤原福夫炭労委員長)の代表者一行九州・北海道の各炭鉱労組組合長は十一日大牟田入りし、当面する石炭政策と産炭地振興についての要請・協力を大牟田、荒尾両市長、議会、石炭特別委員会におこないました。

要請の内容は①一千万トンの生産量確保の三池の生産量確保と貯炭対策②離職者の再就職対策の促進など。市、議会とも最大限の協力を約束しました。

また代表団は十二日、三池鉱

短信

原炭推進、倍増へ

総合エネルギー調査会が報告

通産省の諮問機関である総合エネルギー調査会が六月五日、二〇一〇年度までの長期エネルギー需給見通しと政策について中間報告をまとめた。

それによると、エネルギーの安定供給と地球温暖化問題に対応するために、徹底した省エネとともに、原子力発電を四十基増設して現在のほぼ倍増化することとしています。

しかし、この原炭依存度については「非現実的」との批判が強いことも指摘されています。

需要増す石炭

総合エネルギー調査会

総合エネルギー調査会が昨年設けられた石炭部会は六月六日、報告をまとめた。その中で石炭を天然ガスよりも供給の安定性、経済性に優れた石油代替

囲碁大会のお知らせ

三池労組囲碁愛好会では、囲碁大会を催しますので多数ご参加下さい。

とき 6月24日(日)

午前10時

組合会議室

